

景観配慮協議申出書

令和 2年 12月 1日

(宛先) 鎌倉市長

住所 鎌倉市笛田 1-3-27

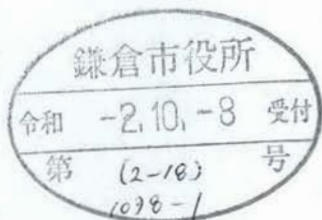
届出者 氏名 株式会社エム・トゥ・エ
代表取締役 伊藤 真

電話 0467 (46) 6337

住所 杉並区阿佐谷南 1-14-19 1階

代理人 氏名 株式会社アトリエユニゾン
代表取締役 鈴木 靖

電話 03 (6416) 3325



〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	住商複合地、一般住宅地		
景観地区	<input type="checkbox"/> 内 () <input checked="" type="checkbox"/> 外		
設計者	住所	杉並区阿佐谷南1-14-19 1階 株式会社アトリエユニゾン	
	氏名	代表取締役 鈴木 靖	電話 03(6416)3325
行為の場所	地名地番	鎌倉市笛田1丁目161番1 外3筆	
	用途地域	工業地域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし
	その他	<input type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他()	
行為の種類	建築物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特定地区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行為の期間	着手予定 2020年12月 / 日	完了予定 2020 年 6 月 30 日 202	

(裏)

建築物の概要	用途	工場				
	最高の高さ	9.2 m	階数	地上 2 階 地下 0 階		
	構造	鉄骨造				
	敷地面積	790.78 m ²				
	建築面積	329.44 m ²	届出以外の部分	0 m ²	合計 329.44m ²	
	延べ面積	498.58 m ²	届出以外の部分	0 m ²	合計 498.58m ²	
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m		<input type="checkbox"/> その他 m		
	色彩の変更部分とその面積	面積 m ²				
	仕上材	屋根	めっき鋼板 (折版)	色彩	屋根	N3 (グレー)
		外壁	ALC、サイディング スパンドレル		外壁	N3 (グレー) 10YR5/3 (ブラウン)
開発行為の概要	開発区域の面積	m ²				
	行為の目的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²)	その他 ()			
	行為の内容	切土 (m ³)	盛土 (m ³)	その他 ()		

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着眼点	計画地周辺の現況等記入欄
地域的特徴	低中層の地域型商業施設と住宅が混在している
まち並みの連続性	低中層を中心とし、圧迫感の少ない街並み
周辺建物のデザイン	住宅、商業とも落ち着いた雰囲気を形成している
眺望景観	高い建物が少ない事による、広がりを感じさせる空
景観資源	幅員が大きい道路による開放感のある景観

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項目	自己評価	配慮事項記入欄
配置	◎	前面道路から離隔距離を確保し、圧迫感を軽減するよう配慮した
形態意匠	◎	形態に変化を持たせ、ボリュームを分節する事により、スケール感に配慮した
色彩	○	落ち着いた色を基調とし、彩度の低いもので計画した
建築設備	○	道路から設備が極力見えないように配慮した
外構緑化	○	接道部及び周辺部に緑地帯を計画し、周辺からの景観に配慮した

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項目	自己評価	配慮事項記入欄
造成		
擁壁		
敷き際・緑化		